

芦屋市 ごみの収集方法に関するアンケート調査について

調査ご協力をお願い



市民の皆様には、日ごろから環境行政の推進にご理解とご協力をいただき、厚くお礼を申し上げます。

さて、本市では、市民の皆様から排出されたごみは、ごみ収集車で収集する方法と、市内の一部をパイプライン施設で収集する方法で実施しています。



パイプライン施設によりごみを収集している地域は、芦屋浜と南芦屋浜地域の一部（以下、「パイプライン収集地域」といいます。）で、この収集方法により地域の良好な住環境が促進されています。

しかし、ごみの減量化など社会情勢の変化等により、パイプライン施設によるごみの収集は、ごみ収集車による収集と比べてランニングコストが2倍強と割高になっており、また、今後は老朽化に伴う施設の大規模改修や建替には、多額の費用が必要になります。

全国的に見ても、施設の老朽化やリサイクルの潮流等が原因で計画を見直している自治体が多くなっています。このようなことから、現在、本市ではパイプライン施設のあり方を検討しています。

パイプライン施設のあり方は、パイプライン収集地域の方だけの問題ではなく、市民の皆様のご大切な税金の使い方を決める重要なことでもあります。そのため本調査は、市内全域を対象に市民の皆様のご意見をお聞きし、今後のパイプライン施設のあり方を検討するための参考資料とさせていただくものです。

お忙しいところ大変恐縮でございますが、調査の趣旨をご理解のうえ、率直なご意見をいただければ幸いに存じます。

なお、ご回答いただいた内容は、本調査の目的以外での利用や個人を特定した内容を外部に漏らすことは一切ありません。

平成 27 年 1 月

芦屋市 市民生活部 環境施設課

※ ご記入いただいた後、調査票のみ同封の返信用封筒に入れて **1月23日（金）** までにポストにご投函ください。

パイプライン施設とは

1 施設概要

パイプライン収集地域では、住民は毎日の燃やすごみを近くの投入口に投棄するだけです。

なお、パイプラインに投入できない燃やさないごみ等は、ごみ収集車による収集を行っています。



投入口

投入口に投棄されたごみは、地下に埋設された輸送管を通して電気掃除機の原理で環境処理センターまで運ばれます。不快な悪臭もなく、まちが汚れることもなく、また、家庭でごみを貯めておく必要もないため、この収集方法により地域の良好な住環境が促進されます。

2 施設構成

パイプライン施設は、おおまかに、以下の施設で構成されています。

(※印は、3 ページに説明写真あり)

(1) 投入貯留施設

投入口※：利用者のごみ投入部（芦屋浜地域 181 箇所、南芦屋浜地域 161 箇所）

貯留排出機※：投入後、一時的にごみを貯留する装置

(2) 運搬施設

輸送管※：ごみ輸送用の流路となる管（芦屋浜地域 約 12km、
南芦屋浜地域 約 7.6km）

遮断弁：地区を区切るための輸送管路の遮断装置

(3) 収集センター施設（環境処理センター内）

分離機※：運ばれてきたごみ・空気を分離する装置

防塵機：分離された空気中の粉塵を除去する装置

ブロワ※：ごみを運ぶため、輸送管内に空気流と負圧を発生させる装置

脱臭装置：活性炭による悪臭除去装置

貯留ドラム：分離されたごみや粉塵を貯留し排出する装置

中央制御装置：運転制御や監視・表示を行う装置



収集センター

施設構成 (略図)

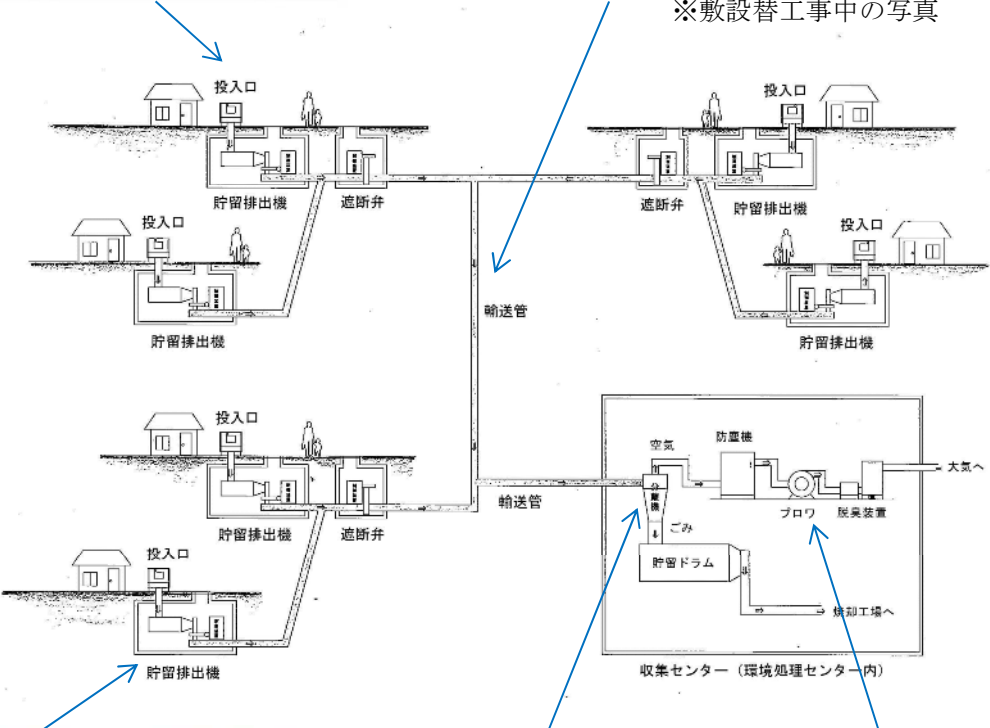
投入口



輸送管



※敷設替工事中の写真



貯留排出機



分離機



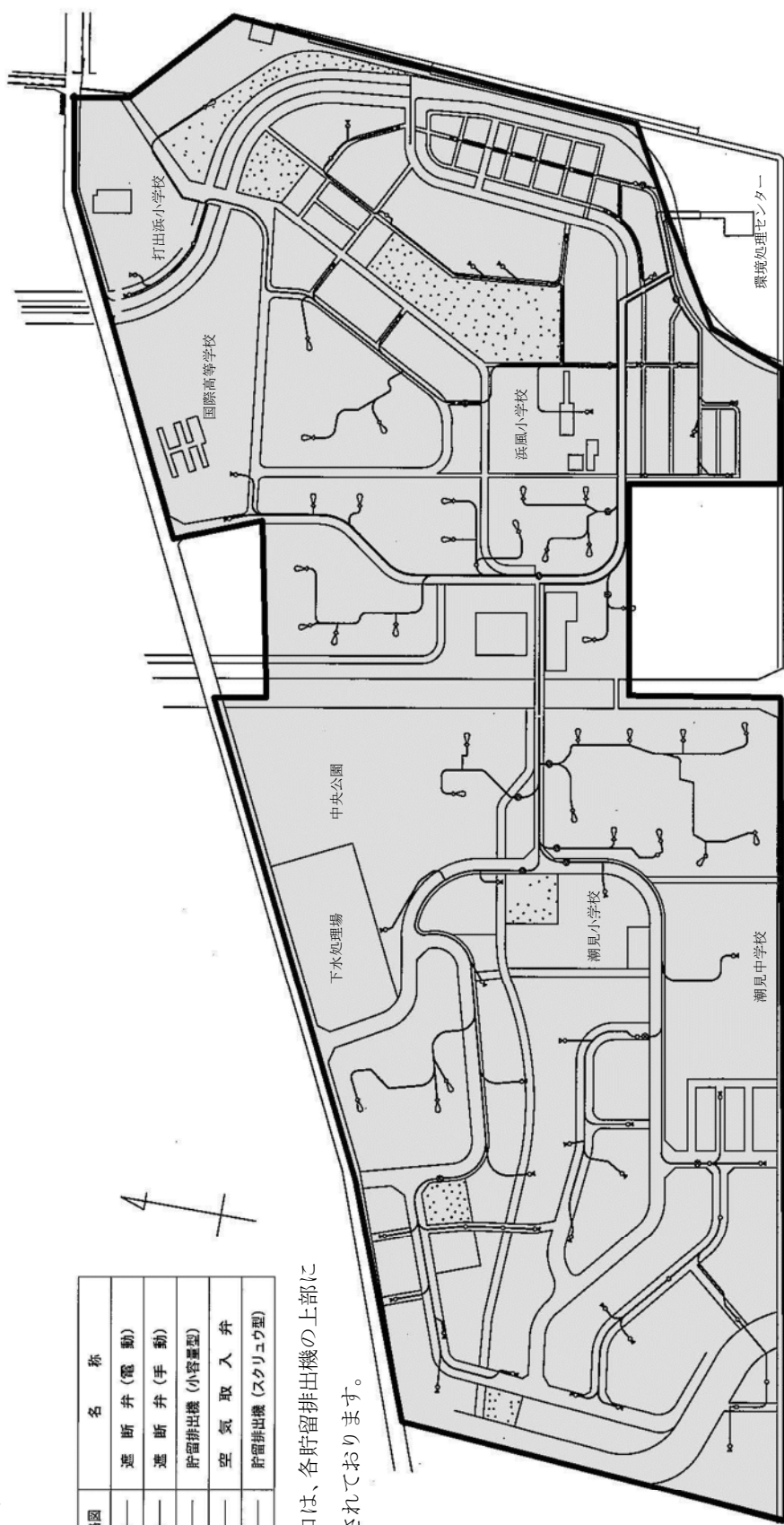
ブロワ

パイプライン収集地域の敷設状況

① 芦屋浜地域

機器略図	名称
—●—	遮断弁(電動)
—⊗—	遮断弁(手動)
—○—	貯留排出機(小容量型)
▷	空気取入弁
—○—	貯留排出機(スクリュウ型)

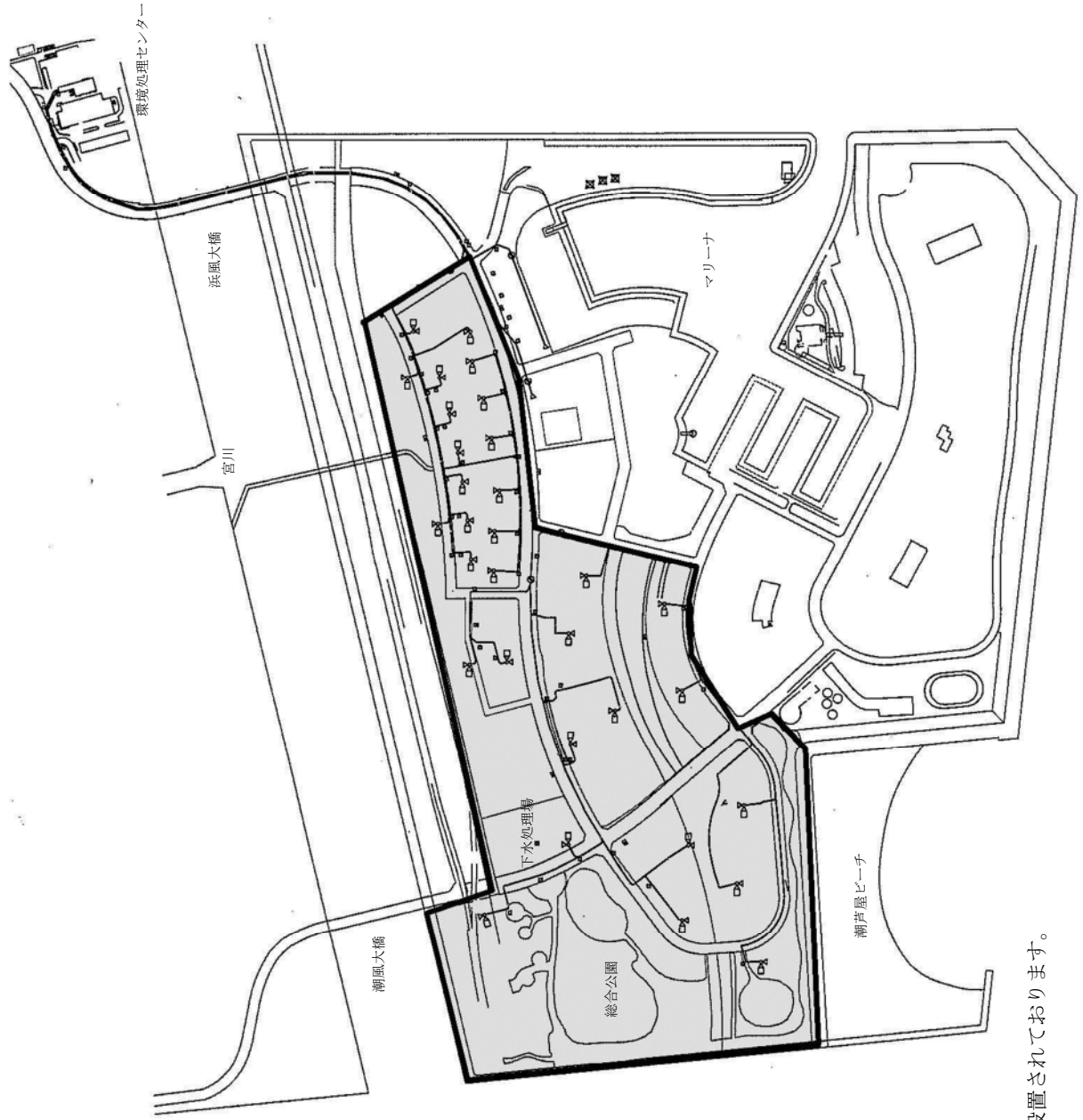
投入口は、各貯留排出機の上部に設置されております。



宮川

※塗りつぶしは、現在パイプラインが敷設されている箇所

②南芦屋浜地域



機器略図	名称
⊗	遮断弁(電動)
⊠	貯留排出機(ドラム型)

投入口は、各貯留排出機の上部に設置されております。

※塗りつぶしは、現在パイプラインが敷設されている箇所

パイプライン施設のあり方については、廃棄物運搬用パイプライン施設検討委員会で議論しています。市ホームページに掲載しておりますので、参考にしてください。

「芦屋市廃棄物運搬用パイプライン施設検討委員会」で検索していただくか、下記アドレスを入力してください。

<http://www.city.ashiya.lg.jp/kankyoushori/fuzokukikan/pipeline.html>



(写真：環境処理センター)

【 ご記入にあたって 】

- 1 お答えは、郵送させていただいた宛名のご本人が、この調査票に直接ご記入ください。
(ご本人がご記入いただけない場合は、ご家族の方が代筆していただいても結構です。)
- 2 ご記入は、黒のボールペン又は、濃い鉛筆でお願いします。
- 3 各質問のお答えは、あてはまる選択肢の数字に○印をつけていただくものや、具体的に記入していただくものなどがあります。質問の中でお願いしている方法をご確認のうえお答えください。
- 4 記述式の記入枠が不足する場合は、用紙(A4)を追加してご記入ください。
- 5 ご記入済の調査票は、同封の返信用の封筒に入れて、ポストにご投函ください。
- 6 本調査についてのお問い合わせは、下記までご連絡ください。

(お問い合わせ先)

芦屋市 市民生活部 環境施設課 (施設名称：芦屋市環境処理センター)

TEL：0797-32-5391 FAX：0797-22-1599

〒659-0032 芦屋市浜風町 31-1

調査票

パイプライン施設のことについておたずねします

問1 このアンケートにご協力いただくまで、あなたは、芦屋浜や南芦屋浜の一部地域で、燃やすごみは、ごみ収集車ではなくパイプライン施設による収集が行なわれていることを知っておられましたか。(どれか一つに○)

- 1 知っていた → 問2へ進んでください。
 - 2 聞いたことはあるがよく知らなかった
 - 3 知らなかった
- } → 問3へ進んでください。

問2 問1で「1 知っていた」と答えた方にお伺いします。

パイプライン施設を使っていますか。又は使ったことがありますか。(どれか一つに○)

- 1 現在、使っている
- 2 過去に使ったことがある
- 3 使ったことがない
- 4 その他 ()

問3 パイプライン収集と車収集の利便性についてお伺いします。(どれか一つに○)

- 1 パイプライン収集の方が、大変便利だと思う
 - 2 パイプライン収集の方が、まあまあ便利だと思う
 - 3 利便性に違いがないと思う
 - 4 車収集の方が、まあまあ便利だと思う
 - 5 車収集の方が、大変便利だと思う
 - 6 わからない
- ※ 上記の設問で回答項目(1~6)を選ばれた理由を教えてください。

[]

※ ご意見(ご自由にお書きください)

[]

調査票

問4 パイプライン施設は、まちづくりの一環で導入され、パイプライン収集により地域では良好な住環境が促進されています。

一方、パイプライン施設を安定して継続していく場合、老朽化に伴う大規模改修や建替が必要になり多額の費用がかかります。

パイプライン施設は、今後どうあるべきだと思いますか。(どれか一つに○)

- 1 大規模改修や建替をして継続
- 2 大規模改修や建替をせずに当面継続し、施設が壊れた箇所の地域から順次廃止
- 3 今後、一定の時期に全域を廃止 → 一定の時期とは、約()年後
- 4 今すぐにでも全域を廃止
- 5 その他()
- 6 わからない

※ 上記の設問で回答項目(1~6)を選ばれた理由を教えてください。

()

※ ご意見(ご自由にお書きください)

()

問5 普段、ごみについて意識されていることをお伺いします。

(下記設問a~eそれぞれについて、右の1~5のそうだと思うところに○)

	そのとおり	ややそうだ	どちらでもない	ややちがう	ちがう
a 日頃からごみの減量化を心掛けている	(1	2	3	4	5)
b ごみの分別をしっかり行なっている	(1	2	3	4	5)
c 地域の集団回収に参加している	(1	2	3	4	5)
d マイバッグを持って買い物に行く	(1	2	3	4	5)
e ごみ出しのルールをよく理解している	(1	2	3	4	5)

※ ご意見(ご自由にお書きください)

()

ご意見

その他ご意見があれば自由にお書きください。

なお、ご意見については個別に回答は致しません。ご了承ください。

お忙しいなか、調査にご協力いただき、まことにありがとうございました。

お手数ですが、同封の返信用封筒に入れて1月23日(金)までにポストにご投函下さい。